

IoT関連（5G、スマートシティ分野を含む）の実装動向等（調査票）

【回答自治体：福岡市】

事業名	
実施期間	
概要	<p>○公民連携ワンストップ窓口「mirai@」/実証実験フルサポート事業 AI やIoT といった先端技術等を活用した実証実験や共働事業などの民間提案の支援により、社会実装を促進し、社会課題の解決や行政サービスの高質化・効率化に取り組む。</p> <p><第6回 WG 以降に実施した主なプロジェクト></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アプリを活用したデジタル切符販売プロジェクト ・AI カメラを活用した都市空間における見守りサービスの構築 ・地中レーダー等を活用した地下埋設物の検知 ・AI を活用した水処理センターにおける流入予測 ・IoT センサ等を活用した水道管漏水調査 ・ロボット等を活用した下水道管渠断面調査 ・EV スクーターシェアリングサービスの検証 ・センサーを活用した区役所内の人流計測 ・AI を活用した生産計画自動作成システムに関する実証実験 <p><第6回 WG 以前に発表した内容とその後について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドローン等を活用した橋梁点検 ⇒従来の点検手法である近接目視と同程度の精度であることが確認されたため、令和3年度より福岡市内の一部の橋梁で実装へ。

IoT関連（5G、スマートシティ分野を含む）の実装動向等（調査票）

【回答自治体：福岡市】

事業名	
実施期間	
概要	<p>○福岡市 IoT コンソーシアム内の各ワーキンググループ 令和3年度は、コンソーシアム会員が企画・運営する下記6WG が活動中（事務局はWG 運営を支援）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「事業共創ものづくり WG」 ②「IoT Business TransformationWG」 ③「医療働き方改革 WG」 ④「ドローン利活用 WG」 ⑤「FITCO×アビスパ福岡スポーツテック WG」 ⑥「QDX WG」 <p>OLPWA（LoRa）通信網 平成29年度から「Fukuoka City LoRaWAN(R)」として市内に実証実験フィールドの提供を開始。自治体が整備するエリアとしては日本最大規模で、実証実験であれば無償でネットワークの利用可能とする取組みであったが、令和元年度末をもって本事業は終了。</p> <p>令和2年度以降は、民間事業者（NTT 西日本グループ）による商用サービスとして、Fukuoka City LoRaWAN ネットワークが継続して提供されている。</p> <p>福岡市・NTT ビジネスソリューションズ・NTT 西日本の三者で連携協定を締結し、今後もIoT 関連産業の振興及び社会課題解決を目指していく。</p>

市政記者各位

令和3年4月9日
総務企画局企画調整部
交通局マーケティング推進室
福岡地域戦略推進協議会

天神・博多間
1日フリーきっぷ

福岡市実証実験フルサポート事業



「乗換案内アプリ」・「タッチ決済対応の Visa カード」を活用
購入から乗車まで完全非接触の企画きっぷを販売します!!



福岡市と福岡地域戦略推進協議会(FDC)では、AIやIoT等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、優秀なプロジェクトの福岡市での実証実験をサポートする「福岡市実証実験フルサポート事業」を実施しています。

この度、「地下鉄の特定エリア 1日乗り放題企画きっぷのモバイル乗車券や非接触決済を活用した、新たな乗車券販売方法の検討に資するプロジェクト」として採択した実証実験が下記のとおり開始されますので、お知らせいたします。

1 採択企業および実証実験の概要

(1) ジョルダン株

[概要]

- ・『ジョルダン乗換案内アプリ』で企画きっぷを販売。
- ・購入後、アプリ内(Myチケット)に表示される、企画きっぷの二次元コードを駅係員に提示。
駅係員がコードを読み取ることで乗降可能。

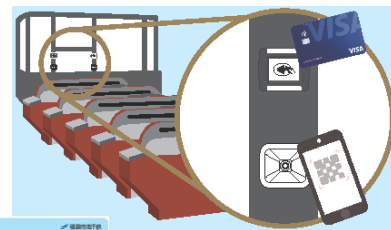


(2) 三井住友カード株

(株)アクアビットスパイラルズ、QUADRAC株、
GMOフィナンシャルゲート株、
GMOペイメントゲートウェイ株、凸版印刷株、
ビザ・ワールドワイド・ジャパン株、(株)福岡銀行

[概要]

- ・『専用の販売サイト』で企画きっぷを販売。(スマートフォンのみ)
- ・「購入時に使用したVisaのタッチ決済対応カード」
または「専用の販売サイトに表示されるQRコード」を
駅有人改札横に設置した専用の読み取り端末にかざす
ことで乗降可能。



2 企画きっぷ概要

- (1) 名称 天神・博多間 1日フリーきっぷ
- (2) 対象駅 福岡市地下鉄内の5駅(天神駅、中洲川端駅、呉服町駅、祇園駅、博多駅)
- (3) 販売価格 大人500円、小児250円
- (4) 発売期間 令和3年4月16日(金)～令和3年8月15日(日)(予定)
(実証実験期間)
- (5) 特典

本企画きっぷの提示により、沿線の施設でさまざまな特典が受けられます。プロジェクト毎に特典施設が異なりますので、詳細は、交通局HPやジョルダン乗換案内アプリ、専用の販売サイトでご確認ください。

【企画乗車券に関する問い合わせ先】

福岡市交通局総務部マーケティング推進室 稲田、中島 電話：092-732-4120 (内線 4120)

【福岡市実証実験フルサポート事業に関する問い合わせ先】

福岡市総務企画局企画調整部 平城、雪野、中戸 電話：092-711-4357 (内線 1225・1219)

3 プロジェクトの詳細

(1) 福岡市地下鉄Ma a S推進実証プロジェクト

【主体：ジョルダン㈱】

① 目的・事業内容

- ・アプリ1つで経路検索～チケットの利用までを完結させることで、利用者の利便性を向上
- ・二次元コードを活用した、チケットの有効性や乗車駅・降車駅の確認を行うことで、企画きっぷにおける周遊状況の把握が可能となり、これまで以上にデジタルチケットの効果を向上させるなど、福岡市におけるMa a Sを推進

② 購入～乗車まで

- ・『ジョルダン乗換案内アプリ』で企画きっぷを販売
- ・購入後、アプリ内(Myチケット)に表示される、企画きっぷの二次元コードを駅係員に提示。駅係員がコードを読み取ることで乗降可能

購入方法

乗換案内アプリを開き、チケット一覧から対象チケットをお選びください。

購入にあたっては、各種クレジットカード/銀聯/アリペイ/PayPayがご利用できます。

乗車/降車時チケット表示

改札入場/出場時に駅係員へ二次元コードを提示してください。優待特典クーポンは各施設でご利用ください。

③ その他

- ・今回の「Justride」の二次元コードを使用するチケットは、国内の鉄道事業者では初の取組みです。
- ・ご利用にはジョルダン乗換案内アプリのダウンロードとジョルダン乗換案内の無料会員登録が必要となります。
- ・各駅の改札口の有人改札をお通りください。駅係員が専用の端末で二次元コードを読み取ります。

乗降時にチケット画面を開いてください。

駅係員がチケット画面(二次元コード)を読み取ります。

ご利用にはアプリが必要です。準備はお早めに！

iOS版 Android版

3800万ダウンロード突破!!
乗換案内アプリの決定版

乗換案内

(2) 「EMVコンタクトレス」を活用した交通スキーム実証実験プロジェクト

【主体：三井住友カード(株) 外7社】

① 目的・事業内容

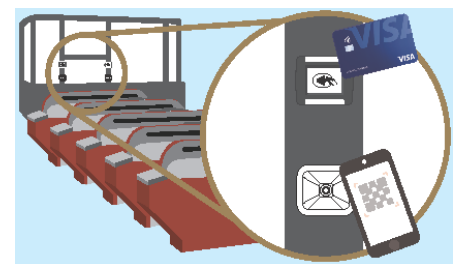
- ・V i s aのタッチ決済カードでの購入・乗車により、新たなきっぷ販売と利用モデルの実現
- ・インバウンド観光客等を想定した福岡市内でのストレスフリーに回遊できる乗車方法の実現
- ・V i s aのタッチ決済を活用した交通乗車スキームの実用化に向け、利用者への認知向上と課題を検証
- ・新たな特典施設の開拓による駅周辺の魅力の創出

② 購入～乗車まで

- ・『専用の販売サイト』で企画きっぷを販売（スマートフォンのみ）
- ・「購入時に使用したV i s aのタッチ決済対応カード」または「専用の販売サイトに表示されるQRコード」を、駅有人改札横に設置した専用読み取り端末にかざすことで乗降可能

購入方法

乗車/降車



ポスターや券売機横のステッカーから専用の販売サイトへ遷移します。

専用の販売サイトで乗車券を購入してください。
※お支払いは、決済はV i s aのタッチ決済対応カード、その他のV i s aカード、またはV i s aカード登録可能なNFC対応スマートフォン等に限りませ

「購入時に使用したV i s aのタッチ決済対応カード」または「専用の販売サイトに表示されるQRコード」を駅有人改札に設置した専用リーダーにかざすことでご乗車いただけます。また、同QRコードを駅周辺施設で提示することで各種特典が利用できます。

③ その他

- ・V i s aのタッチ決済を利用したデジタル企画きっぷの導入は**日本初の取組み**です。
- ・お支払いは、**V i s aのタッチ決済対応カード、その他のV i s aカード、またはV i s aカード登録可能なNFC対応スマートフォン等**に限りませ
- ・特典施設の利用方法は以下のとおりです。

特典施設に設置されている専用の読み取り端末に、駅と同様に「購入で使用したV i s aのタッチ決済対応カード」または、「専用の販売サイトに表示されるQRコード」をかざすことで、特典が利用できます。

※専用の読み取り端末を設置していない施設もあります。その場合は、「専用の販売サイトに表示されるQRコード」を施設側へ提示ください。

2021年4月9日

各位

三井住友カード株式会社
株式会社アクアビットスパイラルズ
QUADRAC 株式会社
凸版印刷株式会社
ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社
株式会社福岡銀行
GMO ペイメントゲートウェイ株式会社
GMO フィナンシャルゲート株式会社

福岡市地下鉄「天神・博多間 1 日フリーきっぷ」における、「Visa のタッチ決済」を利用したきっぷ購入、乗車の実証実験を開始します

三井住友カード株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：大西 幸彦）、株式会社アクアビットスパイラルズ（本社：東京都港区、代表取締役 CEO 萩原 智啓）、QUADRAC 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：高田 昌幸）、凸版印刷株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長：磨秀 晴）、ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：スティーブン・カービン）、株式会社福岡銀行（本社：福岡市中央区、取締役会長兼頭取：柴戸 隆成）、GMO ペイメントゲートウェイ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 相浦 一成）、GMO フィナンシャルゲート株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：杉山 憲太郎）は、「福岡市実証実験フルサポート事業（*1）の一環として、Visa のタッチ決済を活用した福岡市地下鉄「天神・博多間 1 日フリーきっぷ」交通乗車スキーム実証実験プロジェクトを 4 月 16 日（金）より開始します。

Visa のタッチ決済を利用した 1 日フリー切符のようなデジタル企画切符の導入は**日本初**です。

福岡市交通局が運営する福岡市地下鉄は、2022 年度に七隈線の天神南駅～博多駅間のルートを開業予定であり、それに先立ち天神～博多間の回遊需要を検証するため、この度新たに「天神・博多間 1 日フリーきっぷ（*2）」を発表しました。

本実証実験は、紙の切符からデジタル切符への移行として、Visa のタッチ決済による当該切符の新たな販売とストレスフリーな乗車方法の実用化に向けた取り組みとなります。きっぷ購入はポスター経由あるいはきっぷ購入サイトで可能です。乗車は事前のきっぷ購入で決済したタッチ決済対応の Visa カードや専用の販売サイトに表示される QR コードを駅係員がいる改札窓口の専用リーダーにかざすだけでご乗車いただくことができます。また、周辺の施設での特典利用（*3）も可能となります。

日常生活に欠かせない交通分野においては欧州をはじめとする世界の多くの都市で既に Visa のタッチ決済が新しい生活様式の安心・安全な決済手段として一般的に利用されています。コロナ禍で消費者の“非接触”に対する関心の高まりもあり、日本でも便利で安心な日常を提供できるものと考えております。本スキームにより、日本国内の利用者はもとより、海外からの旅行者も Visa のタッチ決済一つで移動からお買物まで完結でき、大きく利便性が向上します。



1. きっぷ購入から乗車、周辺の施設での特典利用について

ステップ 1 (サイトアクセス)	スマートフォンでポスターにある NFC タグにタッチや QR コードを読み込み、 Visa (*4) を使ってきっぷ購入サイトにアクセス
ステップ 2 (購入)	きっぷ購入サイトできっぷ購入
ステップ 3 (アクティベート)	運行状況を確認のうえ、利用日当日に、きっぷ購入サイトにアクセスし、きっぷの アクティベート化 (有効化) ※サイトへのアクセスは、切符購入時にメールアドレスを登録している場合、 購入メールに記載されている URL からアクセス可能です
ステップ 4 (乗車)	駅係員がいる改札窓口を設置している専用リーダーに、以下のいずれかをかざしてご 利用 1) 購入時に使用したタッチ決済対応の Visa カード 2) 専用販売サイトに表示される QR コード ※タッチ決済対応の Visa カードをご利用のお客様は、Visa カードでも QR コードの 利用でもどちらも可能です
ステップ 5 (特典利用)	読取端末設置店舗では、読取端末へ「ステップ 4」と同様にきっぷ購入した媒体をかざ して特典利用

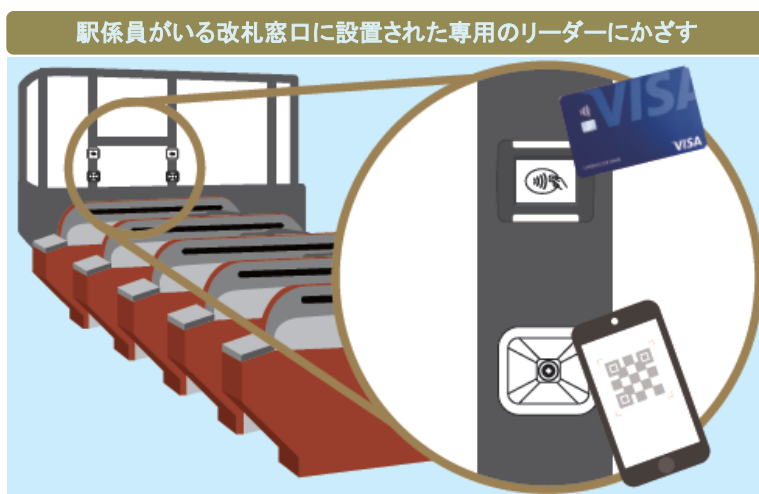
どうやって
買うの？



各所のポスターの NFC ステッカーや
QRコード(上图)にスマホをかざして購入画面へ

購入サイトで必要事項等を記入・選択し、お持ちの
「Visa のタッチ決済対応カード」か他の Visa カード、
または Visa カード登録可能な NFC 対応スマートフォン等
で決済してください

「乗る時」
「降りる時」は
どうするの？



「天神・博多間1日フリーきっぷ」の提示で、割引などが特典施設で受けられます(利用当日限り)



2. 実施期間

2021年4月16日（金）～2021年8月15日（日）

3. 実証実験の目的

- ・Visa のタッチ決済を活用した交通乗車スキームの実用化に向け、利用者への認知向上と課題検証
- ・Visa のタッチ決済対応カードおよび Visa カード登録可能な NFC 対応スマートフォン等での購入・Visa のタッチ決済による乗車により、新たなきっぷ販売と利用モデルの実現
- ・インバウンド観光客等を想定した福岡市内でのストレスフリーに回遊できる乗車方法の実現

4. 各社の役割

三井住友カード株式会社	キャッシュレス導入支援、stera プラットフォーム提供
株式会社アクアビットスパイラルズ	NFC タグソリューション提供、きっぷ販売サイト提供
QUADRAC 株式会社	交通事業者向け決済および認証に関する SaaS 型プラットフォーム“Q-move”の提供
凸版印刷株式会社	認知プロモーション告知物制作
ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社	Visa のタッチ決済に関するソリューション提供 認知プロモーション
株式会社福岡銀行	認知プロモーション
GMO ペイメントゲートウェイ株式会社	セキュア決済システム提供
GMO フィナンシャルゲート株式会社	加盟店システムネットワーク提供

5. Visa のタッチ決済について

Visa のタッチ決済は、日本を含む世界約 200 の国と地域で展開されている国際標準のセキュリティ認証技術を活用した決済方法です。利用者に対応のリーダーにタッチ決済対応のカード（クレジットカード、デビット、プリペイド）やスマートフォン等をかざすだけで、サインも暗証番号の入力も不要(*5)で、スピーディーかつ安心・安全にお支払いが完了します。既に全世界では、Visa の対面取引の 43%がタッチ決済で行われています(*6)。(2020年9月末時点)



現在、既にロンドンやシンガポール、ニューヨーク等の公共交通機関で Visa のタッチ決済が利用可能です。さらに、世界約 500 の公共交通機関における導入プロジェクトが進行中であり、今後も急速に増加していく見込みです。また、ロンドンやシンガポールでは 100 を超える国や地域の非接触カードが使われた実績があり、インバウンド観光客にとってストレスがない移動を提供しています。

日本では、Visa のタッチ決済対応カードの発行は、2020年12月末時点で 3,670 万枚(*7)を超え、ご利用いただける店舗もスーパーやコンビニエンスストア、ファストフードレストラン等をはじめ急速に拡大しており、利用者の利便性ならびに加盟店でのオペレーションの向上に貢献しています。

- (*1) 福岡市は AI・IoT 等の先端技術を社会課題の解決に活用するため「福岡市実証実験フルサポート事業」を実施し、設定したテーマに繋がるプロジェクトを全国から募集しています。今回公募された「地下鉄のモバイル乗車券や非接触決済を活用した新たな乗車券販売方法」に 2020 年 3 月に採択を受けました。

募集対象	地下鉄の特定エリア 1 日乗り放題企画きっぷのモバイル乗車券や非接触決済を活用した、新たな乗車券販売方法の検討に資するプロジェクト
提案内容	・ポスターの NFC タグや QR からきっぷ購入サイトを表示し、タッチ決済対応の Visa カードや Visa カード登録可能な NFC 対応スマートフォン等を使用してモバイルきっぷの購入ならびに改札端末にかざし Visa のタッチ決済で乗車を可能にします。 ・特典施設ではタッチまたはきっぷ画面提示で特典を提供
対象駅	福岡市地下鉄/天神駅、中洲川端駅、呉服町駅、祇園駅、博多駅
実証実験期間	2021 年 4 月 16 日～2021 年 8 月 15 日

プレスリリース

https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/64351/1/fullsupport_kankopj.pdf?20200703183629

- (*2) 「天神・博多間 1 日フリーきっぷ」は福岡市地下鉄が発券する天神～博多間の 5 駅間乗り降り自由のきっぷです。

対象駅：天神・中洲川端・呉服町・祇園・博多

販売期間：2021 年 8 月 15 日まで

購入方法：スマートフォンでポスターに掲示されている NFC タグや QR コードを読み取り

料金：大人 500 円、小児 250 円

支払方法：Visa カード、Visa カード登録可能な NFC 対応スマートフォン等による Visa での決済

- (*3) 周辺の施設、特典内容については、きっぷ購入サイトをご参照ください。

- (*4) Visa のタッチ決済対応カード、その他の Visa カード、または Visa カード登録可能な NFC 対応スマートフォン等が利用可能です。

- (*5) 一定金額を超えるお支払いは、カードを挿し暗証番号を入力するか、サインが必要となります。

- (*6) VisaNet

- (*7) Visa の取引先金融機関・発行会社からの報告による実績です。

※「QR コード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。

以 上

◆本件(ニュースリリース)に関するお問い合わせ先◆

三井住友カード株式会社 経営企画部 広報室 担当 伊藤・森下	TEL : 03-5470-7240	MAIL : public_relations@smbc-card.com
株式会社アクアビッツスパイラルズ 事業開発部 萩原	TEL : 03-6450-3758	MAIL : global@spirals.co.jp
QUADRAC 株式会社 社長室 木村	TEL : 03-6455-4830	MAIL : info@quadrac.co.jp
凸版印刷株式会社 九州営業部 担当 石本	TEL : 092-722-2000	MAIL : https://www.toppan.co.jp/inquiry.html
ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社 広報部 担当 濱田・内田	TEL : 03-3210-1650	MAIL : jp-ccom@Visa.com
株式会社福岡銀行 営業統括部 担当 小川	TEL : 092-723-2481	MAIL : y.ogawa@fukuokabank.co.jp
GMO ペイメントゲートウェイ株式会社	TEL : 03-3464-0182	MAIL : https://contact.gmo-pg.com/m?f=767
GMO フィナンシャルゲート株式会社	TEL : 03-6416-3881	MAIL : irpr@mail.gmo-fg.com

令和3年5月10日

市政記者各位

福岡市総務企画局企画調整部
福岡地域戦略推進協議会

福岡市実証実験フルサポート事業

全国初!

「EV スクーター×シェアリング」

環境配慮を目指すシェア型移動サービスの有効性を検証します!!

福岡市と福岡地域戦略推進協議会（FDC）では、AI や IoT 等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、福岡市での実証実験をサポートする「福岡市実証実験フルサポート事業」を実施しております。

この度、「EV スクーターのシェアリングサービス事業」として採択した実証実験が下記のとおり開始されますので、お知らせいたします。

記

1 事業者

株式会社新出光（本社：福岡市）

IDEX

2 実証実験の内容

(1) 概要

低炭素型交通網の構築、移動手段の多様化・利便性向上、新たな観光モビリティの提供を目指し、環境負荷低減を目指す電動のスクーターバイクを短時間から借りられて、専用ポートでの乗り捨てが可能な、新しいシェアリングサービスのテストマーケティングを実施するもの。

今回の実証実験では、九州大学の学生及び教職員を対象に伊都キャンパス～JR 九大学研都市までの移動手段として無償レンタルを行い、サービスの形成に向けた利用ニーズの収集や登録者数・利用回数・リピート率等のデータ収集を行う。

(2) 期間

令和3年5月10日（月） ～ 7月30日（金）※予定

5月14日（金）九州大学伊都キャンパスにおいて、事業者によるデモンストレーションが実施されます。詳細は別添資料のとおりです。

【お問い合わせ先】

福岡市総務企画局企画調整部

担当：雪野、大菌 電話：092-711-4879（内線 1219）



2021年5月10日
株式会社新出光

全国初！環境配慮を目指すシェア型移動サービス
EV スクーターシェアリングサービス事業『ラクすく』の実証実験開始

株式会社新出光(本社:福岡市博多区上呉服町 代表取締役社長兼グループ CEO:出光泰典)は、新規事業化を目指す「EV スクーターバイクのシェアリングサービス事業『ラクすく』」において、九州大学、福岡市と連携し、5月10日(月)より九州大学の大学生及び教職員限定でEVスクーターバイクの無償レンタルを開始します。本実証実験では「低炭素型交通網の構築、移動手段の多様化・利便性向上、新たな観光モビリティの提供」などを目指し、EV スクーターのシェアリングサービスの実証に取組み、利用者ニーズや運営上の課題等を検証していきます。なお、同実証実験は「福岡市実証実験フルサポート事業※」に採択されたものであり、広報協力、関係機関との調整等において福岡市のサポートを受けて実施します。なお、EV スクーターを活用したシェア型移動サービスの実証実験は全国初の取組みとなります。



■福岡市実証実験フルサポート事業※

福岡市と福岡地域戦略推進協議会が AI や IoT 等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、福岡市での実証実験をサポートするもの。

■『ラクすく』実証実験内容

(1)概要

低炭素型交通網の構築、移動手段の多様化・利便性向上、新たな観光モビリティの提供を目指し、環境負荷低減を目指す EV スクーターバイクを短時間から借りられて、専用ポートでの乗り捨てが可能な、新しいシェアリングサービスのテストマーケティングを実施するもの。

九州大学の学生及び教職員を対象に伊都キャンパス～JR 九大学研都市までの移動手段として無償レンタルを実施し、サービスの形成に向けた利用ニーズの収集や登録者数・利用回数・リピート率等のデータ収集を行います。

(2)実施期間

令和3年5月10日(月)～7月30日(金)

※予定

(3)特設ポート設置場所

- ・九州大学伊都キャンパス
- ・ローソン九大学研都市駅前店



利用料金 無料	利用条件 九州大学の学生・教職員 運転免許証の所有 アンケートの協力
利用制限 お一人様1回1時間 1日2回までの利用 <small>※3回以上返却時間をオーバーで利用停止</small>	運営期間 2021年 5月10日～7月30日 (土・日・祝 休み)
受付時間 8:15～15:45 (受付停止時間/12:15～14:15)	返却時間 8:25～16:45 (返却停止時間/13:15～14:15)
レンタル受付・返却場所 九州大学 伊都キャンパス センター5号館前	ローソン九大学研都市駅前店 駐車場 特設スペース

■報道機関向けのデモンストレーションの実施について

会員登録から利用開始までの流れと、EVスクーターバイクの利用シーン等について、報道機関様へのデモンストレーションを実施いたします。日程・場所・申込方法は以下の通りです。

日時	2021年5月14日(金) 10:00
実証場所	九州大学 伊都キャンパス センター5号館前
住所	福岡市西区元岡 744 番
申込方法	13日15時までに、h-yamaguchi@idex.co.jp へご参加の旨をご連絡ください。
担当	株式会社新出光 経営企画課 山口 080-5801-8273

ご取材いただける内容:九州大学の学生による会員登録から利用開始までの流れ、実際の運転シーン、利用後の感想 など

※新型コロナウイルスの感染状況に応じて、延期または中止の可能性もございますので、予めご了承ください。

■「EV スクーターバイクのシェアリングサービス事業『ラクすく』」について

環境負荷低減を目指すEVスクーターバイクを短時間から借りられて、専用ポートでの乗り捨てが可能な新しいシェアリングサービスを目指し、現在テストマーケティングを行います。

将来的には福岡市内に100箇所以上のポート場所を設置して、24時間いつでもどこでもライドシェアする事ができるサービスを目指しています。

当リリースに関するお問合せ先

株式会社新出光 広報担当 谷口・^{しもじょう}下門 電話:092-291-4134

経営企画部 山口 電話:080-5801-8273

以上

市政記者各位

令和3年6月10日
道路下水道局下水道施設部施設整備課
総務企画局企画調整部

mirai@共働事業“インフラテック実証プロジェクト”

mirai@
city.fukuoka

『AIを活用した水処理センターにおける流入量予測』実証PJ開始!!

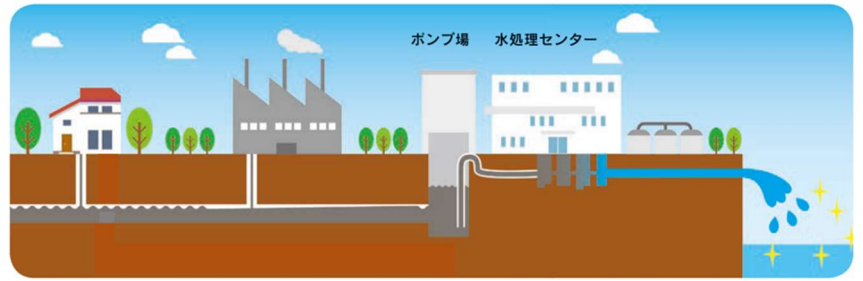
福岡市では、民間事業者の先進的なアイデアやAI・IoTといった先端技術を活用して社会課題の解決等を促進する**公民連携ワンストップ窓口『mirai@』**(ミライアット)を設置し、提案者と市が共働で行政サービスの高質化・効率化に資するプロジェクトを実施する『共働事業』のご提案を募集しております。

この度、以下の通り実証プロジェクトをスタートすることとなりましたのでお知らせいたします。

記

1 実証プロジェクトの目的

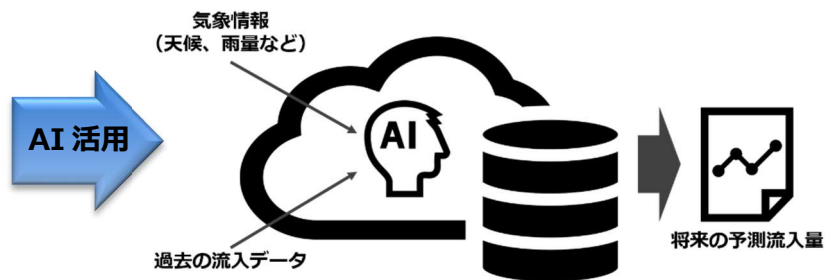
水処理センターでは、下水管を通じて汚水を収集し、浄化処理を行っていますが、流入量は季節、曜日、天候といった様々な要因によって変動するため予測が難しく、現状では職員が経験的に当日の流入量を予測し、ポンプ等の稼働条件を決定しております。



このため、AIを活用し、過去データ、季節・気象条件といった要因から流入量予測が可能であるかを検証します。予測が可能となれば、流入量に応じたポンプの適正な運転など下水処理作業の更なる適正化・効率化が期待できます。



職員が経験から
流入量を予測



2 実証プロジェクト

AIを活用した流入量予測技術・・・5件 ※詳細は別紙をご参照ください。

3 実証プロジェクト期間

令和3年6月15日 ～ 令和4年3月31日

【問い合わせ先】

○実証プロジェクトに関すること
道路下水道局下水道施設部施設整備課
担当：柿添、川崎
電話：092-711-4524 (内線 6130)

○共働事業に関すること
総務企画局企画調整部
担当：雪野、大園
電話：092-711-4879 (内線 1219)



	企業名	技術概要
1	<p>株式会社エクサウィザーズ</p> 	<p>最新 AI 技術を用いて、簡易かつ高精度の予測を実現する。※</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ディープラーニングを用いた予測モデル ② 過去の流量と周辺で関連する雨量データなど、限られたデータで予測が可能 <p>※弊社内にて従来方法(タンクモデル)の予測や、他の機械学習モデルの予測と比較</p>
2	<p>千代田計装株式会社 福岡工業大学</p> 	<p>下水流入量予測 AI (人工知能)システム構築と予測精度検証に取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① AI(人工知能)技術を活用した下水流入量予測システムを構築および予測精度の検証を行う。 ② 福岡市や気象庁等の内外部ビッグデータを AI の学習に利用する。また、効率的な運用支援、コスト削減に繋げるため、予測精度を左右する主要なデータについて検討する。
3	<p>株式会社ハイドロ総合技術研究所</p> 	<p>過去の流入量データとそれに関連する季節、曜日、天候、前日の水量などのデータの関係を AI で学習し、汚水の流入量を予測するシステムを開発する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 経験的に予測に利用しているデータを用いる ② 気象データについては、既存の気象予報プロダクトから地上の気象情報を予測する AI サブシステムを開発して精度向上を計る。
4	<p>メタウォーター株式会社</p> 	<p>運転管理に有用な流入量予測システムを構築するため、以下に取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 気象等のオープンデータと流入量の相関関係を調査し、予測精度に影響を与える入力項目を抽出 ② データの構造評価や前処理を実施し、AI を活用した流入予測における課題を明確化 ③ AI に関するオープンソースを活用し、最適な流入予測モデルを構築
5	<p>株式会社安川電機</p> 	<p>過去の流入量・雨量、時間、曜日をパラメータに流入量を予測する。AI モデルは地域の変化にも自動的に対応することが可能である。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1日後～1週間後の予測精度を評価する。 ② 雨量の影響を考慮した流入量の予測精度を評価する。 ③ 実運用に適用可能な予測精度を見極める。

市政記者各位

令和3年6月10日
道路下水道局建設部建設推進課
総務企画局企画調整部

mirai@共働事業“インフラテック実証プロジェクト”

mirai@
city.fukuoka

『地中レーダ等を活用した地下埋設物の検知』実証PJ開始!!

福岡市では、民間事業者の先進的なアイデアやAI・IoTといった先端技術を活用して社会課題の解決等を促進する**公民連携ワンストップ窓口『mirai@』**(ミライアット)を設置し、提案者と市が共働で行政サービスの高質化・効率化に資するプロジェクトを実施する『**実証実験**』のご提案を募集しております。

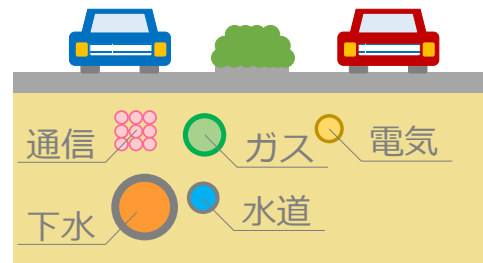
この度、以下の通り実証プロジェクトをスタートすることとなりましたのでお知らせいたします。

記

1 実証プロジェクトの目的

下水道工事などにおいて、水道管やガス管などを破損した場合、断水や停電など重大な事故に繋がりがねません。破損防止のために行っている試掘調査は、時間的な制約などから工事範囲の一部に限られていますが、破損防止には広範囲での地下埋設物の状況確認が効果的です。

そのため、試掘と比較して短時間で広範囲の調査が可能な「地中レーダ等を活用した埋設物検知」が可能であるかを検証します。検知が可能となれば、地下埋設物の破損防止だけでなく、工事による通行止め期間の削減、騒音・振動の低減など、市民への負担軽減も期待できます。



路面下の地下埋設物状況のイメージ

現在の試掘調査(人力)



地中レーダを活用した調査(機械)



2 実証プロジェクト

地中レーダ等を活用した地下埋設物の検知技術・・・5件
※詳細は別紙1をご参照ください。

3 実証プロジェクト期間

令和3年6月15日 ～ 令和4年3月31日

- 実証が開始される6月15日以降、別紙2のとおり提案企業による現地調査が行われます。作業状況の撮影及び提案企業へのインタビューが可能ですので、取材をお願いいたします。
- 天候等により予告無しに現地作業を中止する場合がありますので、取材の際には事前に建設推進課へご連絡をお願いします。

【問い合わせ先】

○実証プロジェクトに関すること
道路下水道局建設部建設推進課
担当：大津、稗田
電話：092-711-4464 (内線 3101)

○共働事業に関すること
総務企画局企画調整部
担当：雪野、大藪
電話：092-711-4879 (内線 1219)



	企業名	技術概要
1	<p>株式会社 アーバンテック</p>  <p>株式会社 アーバンテック</p>	<p>■概要</p> <p>電磁波(パルス波)を地表から地中に向け放射し、電磁波の反射波をとらえることにより、空洞、埋設物などの位置、深さを掘削することなく特定することが可能。</p> <p>■特長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探査深度:0.4m～約 4m(※条件により異なる) ・短時間で広範囲の探査が可能 ・交通への影響を最小限に抑えられる
2	<p>ジオ・サーチ 株式会社</p>  <p>GEO SEARCH</p>	<p>■概要</p> <p>電磁波による多配列地中レーダを用いて、対象範囲を高密度かつ面的にデータ取得し、自社開発の専用ソフトウェアを用いて3Dデータ処理や解析を行い、3Dモデルデータを出力する。</p> <p>■特長</p> <p>本技術では縦横断管、管種を問わず埋設状況(水平、深度変化点、浅層埋設箇所等)を3Dモデルデータとして出力するため、地中の埋設状況を三次元で連続的かつ高精度で把握することが可能。</p>
3	<p>日本物理探査 株式会社</p>  <p>地中レーダ探査 水平磁気探査</p> <p>NGP 日本物理探査株式会社</p> <p>Nippon Geophysical Prospecting Co.,Ltd.</p>	<p>■概要</p> <p>二種類の探査技術を用いる。地中レーダ探査では、地中レーダ測定器を1m/sec程度で移動させ、アンテナで送受信した信号を測定器本体でデータ処理し、探査状況をモニター画面に表示させながら記録する。水平磁気探査では、磁気センサを地表から約10cm程度離れた位置に保持し、探査範囲を1m/sec程度の速度で歩いて地表面下に埋没する鉄類を探査する。</p> <p>■特長</p> <p>舗装路では地中レーダ探査を行い、未舗装路等では水平磁気探査を用いるなど、フィールドに合わせた探査が可能。</p>

	企業名	技術概要
4	<p>株式会社 日立製作所</p> <p>「地中可視化サービス」</p>  <p>HITACHI Inspire the Next</p>	<p>■概要</p> <p>車両型、手押し型の2タイプのレーダ探査装置を用いて道路幅などの環境に応じ埋設物情報を収集。地中レーダ探査/AI解析により広域に正確な埋設物情報を可視化(3次元化)し、プラットフォーム上で一元管理・提供。これにより、インフラ事業者は埋設物情報の位置関係を直感的に把握可能となる。</p> <p>■特長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の埋設物情報の収集/現場での実物確認の効率化 ・ 埋設管損傷事故や工期遅延発生リスク低減
5	<p>フジテコム 株式会社</p> <p>地中レーダグランドシアラGN-02</p>  <p>フジテコム株式会社 みず、みち、いのち。</p>	<p>■概要</p> <p>GN-02は多くの埋設管が集中する深度 1.2mまでの探査にフォーカスした地中埋設物探査レーダであり、ガス・電気・水道の埋設管工事、道路の空洞探査、駅ホームの配管工事の事故防止に活用可能。</p> <p>■特長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最大 1.2mまでの鮮明な探査画像(金属管・樹脂管、空洞、鉄筋など)を取得可能 ・探査開始ボタンを押すだけの簡単操作 ・埋設管「自動検出」と3データ同時比較「マルチモード」で探査員の埋設管判定作業をサポート ・軽量・コンパクト、折り畳みが可能で優れた運搬性

◆調査箇所一覧

	調査日	調査箇所	区分
1	R03.06.15	南区柏原3丁目1番9号地先	車道
2	R03.06.16	南区柏原3丁目1番18号地先	車道
3	R03.07.06	西区小戸三丁目11番7号地先	車道
4	R03.07.07	西区小戸三丁目11番5号地先	車道

◆作業スケジュール(各日程共通)

09:00～ 規制等準備開始

09:30～ 株式会社 アーバンテック

10:00～ 株式会社 日立製作所 九州支社

10:40～ フジテコム 株式会社 九州支店

11:30 午前中終了

13:00～ 規制等準備開始

13:30～ ジオ・サーチ 株式会社 九州事務所

14:00～ 日本物理探鑛 株式会社 福岡営業所

16:30～ 完了

※調査の進捗等を踏まえ、作業順序等を入れ替えることがあります。
※天候等により予告無しに現地作業を中止する場合がありますので、
取材の際には事前に建設推進課までご連絡をお願いします。

令和 3年 6月22日

市政記者各位

福岡市総務企画局企画調整部
福岡地域戦略推進協議会

福岡市実証実験フルサポート事業

『都市空間における見守りサービスの構築と実証』実証実験開始

福岡市と福岡地域戦略推進協議会（FDC）では、AI や IoT 等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、福岡市での実証実験をサポートする「福岡市実証実験フルサポート事業」を実施しており、令和2年3月に、本事業を実証実験プロジェクトとして採択いたしました。

この度、下記のとおり、採択事業者による実証実験が開始されるとともに、実験開始当日に採択事業者による記者向けの説明会（取材会）を開催しますので、お知らせします。

記

1 事業者

国立大学法人 九州大学（福岡市）

2 実証実験内容（※詳細は別添事業者リリース資料参照）

(1) 概要

本実験は、AI 画像解析技術を用いて、カメラより取得した画像から車椅子利用者等の移動困難者を検知し、交通事業者（昭和自動車）に自動で通知することにより、移動困難者に対して効率的なバス乗車支援を行う実証実験であり、交通結節点における見守りサービスの開発及びその効果を検証します。

(2) 期間

令和3年6月25日（金）～令和4年3月31日（木）（予定）

(3) 場所

JR 九大学研都市駅前バスターミナル（福岡市西区北原）

(4) カメラ画像の取扱いについて

本実験は、カメラ画像利活用ガイドブック（経産省・総務省）に基づいて実施します。本実験で撮影した画像は、瞬時に処理を行い、個人情報と保存することはありません。なお、本実験で生成する属性付き人流データは個人情報を含まず、データから個人を特定することはありません。

(5) 説明会 ※事前申込制です。申込方法は別添事業者リリース資料参照のこと。

日時：令和3年6月25日（金）

11時00分～12時00分 オンライン説明会（詳細は別途事業者よりご案内）

13時30分～14時00分 現地説明会（場所：JR 九大学研都市駅前バスターミナル）

3 問い合わせ先

- 福岡市実証実験フルサポート事業に関すること

福岡市総務企画局企画調整部

担当：平城、井口 電話：092-711-4357

- 実証実験の内容・カメラ画像の取扱い、説明会に関すること

九州大学持続的共進化地域創成拠点

担当：准教授 高野

E-mail: takano.shigeru.019@m.kyushu-u.ac.jp

以上



「都市空間における見守りサービスの構築と実証」に関する説明会のご案内

国立大学法人九州大学持続的共進化地域創成拠点（以下、九大 COI）は、まちの「あんしん・あんぜん」にかかる都市サービスの社会実装を推進するべく、公共空間におけるカメラ映像を利活用した人流分析実証実験を提案し、2020年3月に「福岡市実証実験フルサポート事業」として実証実験「都市空間における見守りサービスの構築と実証」が採択されています（2020年4月プレスリリース）。このたび、2021年6月より、AI画像解析技術を用いて、九大学研都市駅前ロータリー等において取得した画像から、移動困難者（車イス、白杖、ベビーカー利用者等）を検知した際に自動的に通知を行い、担当者がスムーズに支援を行えるか、有用性の検証を九州大学キャンパスバリアフリー検討研究会と共同で開始いたします。

つきましては、都市空間における見守りサービスの構築に向けた本実証実験の取り組みを皆様に広く周知したく、説明会について下記の通りご案内いたします。

記

1 事業者

九州大学持続的共進化地域創成拠点（福岡市）

株式会社日立製作所（九大 COI 参画機関）

昭和自動車株式会社（九大 COI 参画機関）

2 実証実験内容

(1) 概要

本実証実験では、AI画像解析技術を用いて、取得した画像から車椅子利用者等の移動困難者を検知し、交通事業者に自動で通知することにより、移動困難者に対して効率的な乗車支援することで、その効果を検証します。

(2) 実験期間

令和3年6月25日（金）～令和4年3月31日（木）（予定）

(3) 説明会

日時：令和3年6月25日（金）

・オンライン説明会：11時から12時まで

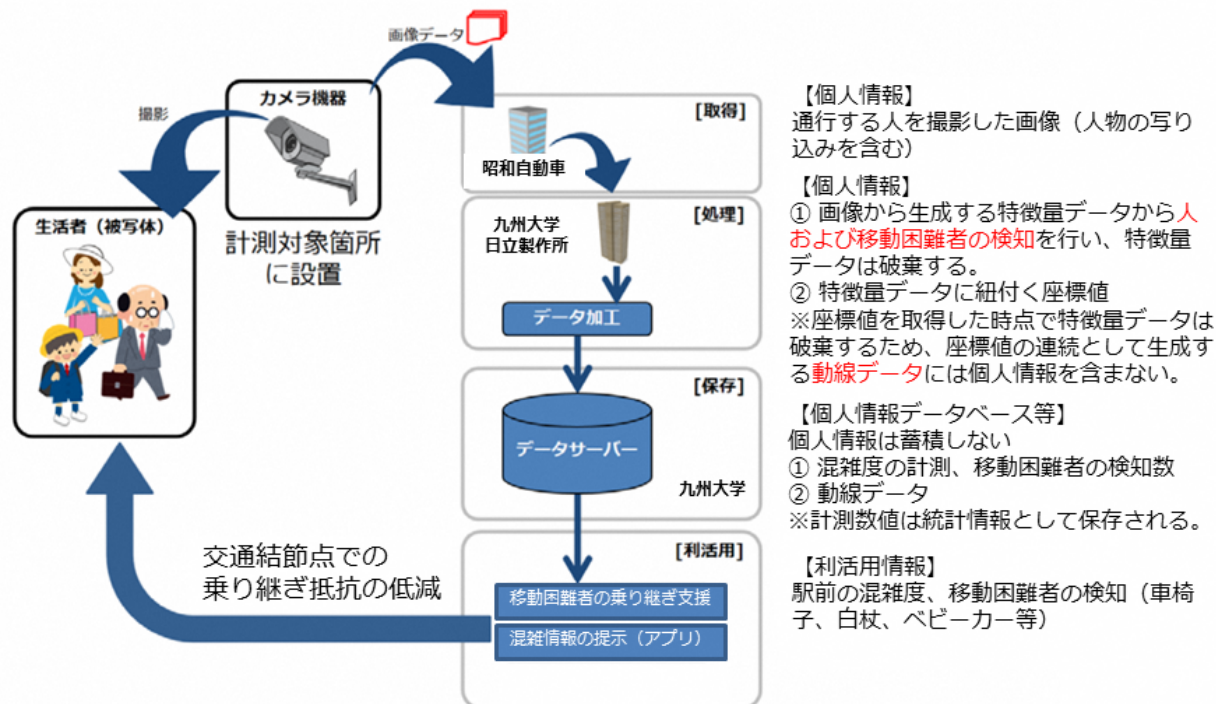
・現地説明会：13時30分から14時まで

場所：JR 九大学研都市駅前バスターミナル

(4) カメラ画像の取扱いについて

本実証事業では、カメラ画像利活用ガイドブック（経産省・総務省）に基づいて、画像データ取得に関する事前告知（通知文の掲示およびWebでの周知等）を実施します。画像データの処理の流れは下記の通りで、本実証では個人情報を保存することはありません。本実証実験で生成する属性付き人流データは個人情報を含んでおらず、データから個人を特定することはありません。

個人情報保護に配慮した画像データの取り扱い



*カメラ画像活用ガイドブック（経産省・総務省）P49 参照

プライバシーポリシー:

URL: https://platform.coi.kyushu-u.ac.jp/fukuoka_pj/

(5) 取材申込

取材を希望される場合は、別紙の取材申込用紙をご記入の上、九州大学持続的共進化地域創成拠点（担当：高野）まで電子メール（takano.shigeru.019@m.kyushu-u.ac.jp）にてお申し込み下さい。

* 現地説明会では、記者クラブ毎に各社 1 名ずつ（カメラマン・アシスタント含む 3 名まで）でお願いします。

* 申し込み期限：2021 年 6 月 24 日（木）17 時 00 分まで

(6) その他

* 本説明会には、共同研究機関である昭和自動車株式会社、株式会社日立製作所と、実証実験フルサポート事業にてご支援いただいている福岡市も同席いたします。

* オンライン説明会には、WEB 会議システム「Zoom」を使用します。接続に関する詳細については、取材申込用紙に記載のメールアドレスへ別途ご連絡いたします。

* 新型コロナウイルス感染症および当日の天候の状況によっては、現地での説明は中止し、デモ映像を使ったオンラインでの説明となる可能性があります。

【お問い合わせ】

○実証実験の内容・カメラ画像の取扱いに関すること
九州大学持続的共進化地域創成拠点 准教授 高野 茂
E-mail: takano.shigeru.019@m.kyushu-u.ac.jp

送付先 九州大学持続的共進化地域創成拠点（担当：高野）

E-mail: takano.shigeru.019@m.kyushu-u.ac.jp

取材申込用紙

(6/25「都市空間における見守りサービスの構築と実証」の取材のご案内)

お申込日

月	日
---	---

ご出席予定の説明会

両方 ・ AMのみ（オンライン説明会） ・ PMのみ（現地説明会）

貴社名

--

ご連絡先（TEL, E-Mail）

TEL:
Mail:

参加者ご氏名

ご氏名	記者 ・ カメラマン ・ アシスタント
	記者 ・ カメラマン ・ アシスタント
	記者 ・ カメラマン ・ アシスタント

* 申し込み期限：2021年6月24日（木）17時00分までにお申し込み下さい。

mirai@共働事業“インフラテック実証プロジェクト”

mirai@
city.fukuoka

水道管の漏水を早期に発見！！

『IoT センサ等を活用した水道管漏水調査』実証 PJ 開始

福岡市では、民間事業者の先進的なアイデアや AI・IoT といった先端技術を活用して社会課題の解決等を促進する公民連携ワンストップ窓口『mirai@』（ミライアット）を設置し、提案者と市が共働で行政サービスの高質化・効率化に資するプロジェクトを実施する『共働事業』のご提案を募集しております。

この度、以下の通り実証プロジェクトをスタートすることとなりましたのでお知らせいたします。

記

1 実証プロジェクトの目的

福岡市では、水道管の漏水を早期に発見するため、計画的な漏水調査を実施していますが、調査範囲は市内全域に及び、また、交通量の多い交差点などの調査困難箇所の対応も必要であるため、より効率的・効果的な漏水調査方法を研究し、水道事業運営のスマート化を目指しています。

今回の実証プロジェクトは、漏水時に発生する微小な音や振動などを検知する IoT センサを活用して、漏水を高度に判別する技術の検証に取組むものであり、IoT センサ活用によるリアルタイムの漏水監視が可能となれば、より早期に漏水の発見及び修理を行うことができ、市民生活への影響の軽減につながります。

【実証プロジェクトのイメージ図】



2 実証プロジェクトへの提案企業と実証フィールド

- 株式会社日立製作所 九州支社 [実証フィールド：鉄道・国道の横断部、地下街周辺]
- フジテコム株式会社 九州支店 [実証フィールド：鉄道・国道の横断部、離島]

※詳細は別紙1をご参照ください。

3 実証プロジェクト期間

令和3年7月1日(木) ~ 令和4年3月31日(木)

- 7月5日(月)に、別紙2のとおり提案企業によるデモンストレーションを行います。
公道上で行う検証の前段として、水道局の研修所にある水道管を利用して IoT センサの性能試験等を行うものであり、撮影及び提案企業へのインタビューが可能ですので、取材をお願いいたします。
- 天候等により延期する場合がありますので、取材の際には事前に技術管理課へご連絡をお願いします。

【問い合わせ先】

- | | |
|---|--|
| ○実証プロジェクトに関すること
水道局計画部技術管理課
担当：宮崎、高田
電話：092-483-3198 (内線 148-3198) | ○共働事業に関すること
総務企画局企画調整部
担当：雪野、大園
電話：092-711-4879 (内線 1219) |
|---|--|



	企業名	プロジェクト概要
--	-----	----------

株式会社日立製作所 九州支社

漏水検知サービス

HITACHI
Inspire the Next

1

■研究テーマ
 超高感度漏水センサを活用した漏水検知技術
 及び管路状態評価技術の実証実験

■研究概要
 (1) 漏水センサを活用した水道管漏水調査
 IoT を活用した無線通信機能を持つ **超高感度漏水センサ** を水道管に設置して、**漏水特有の振動を捉える**ことで漏水を検知する。センサによる漏水検知性能の評価や管路の常時監視の有効性を検証する。

(2) 管路状態の評価
 水道管情報(管種・口径、敷設年度)や過去の漏水事故情報等から**事故率計算モデルを構築し、水道管の事故リスク評価のシミュレーション**を検討する。

■実証フィールド
 鉄道・国道の横断部、地下街周辺
 (重大な事故リスクがあるエリアを選定)

■特長

- ・自社開発の超高感度漏水センサで微小漏水も検知可能
- ・IoT 通信によるセンサの遠隔監視
- ・管路状態の評価を踏まえた効果的な漏水調査手法を提案

フジテコム株式会社 九州支店

クラウド型 IoT 遠隔漏水監視システム
「リークネット・セルラー」

※携帯電話網(LTE)を使用した自動データ回収は現場状況に左右されます。

フジテコム株式会社

みず、みち、いのち。

2

■研究テーマ
 クラウド型 IoT 遠隔漏水監視システム
 「リークネット・セルラー」の実証実験

■研究概要
 IoT を活用した無線通信機能を持つ漏水監視センサを仕切弁・消火栓等に設置し、**水道管に伝搬する漏水音を監視し、漏水音圧(音の大きさ)データを独自のアルゴリズムで分析**することで、漏水発生有無を検知する漏水監視システムの有効性を検証する。

■実証フィールド
 鉄道・国道の横断部、離島
 (重大な事故リスクがあるエリア及び維持管理や漏水対応が困難なエリアを選定)

■特長

- ・音圧データを毎日自動収集し、経時変化を可視化
- ・専用アプリにより、何時でも何処でもデータ確認可能
- ・漏水発生を地図上へ表示し、アラートをメールで送信

提案企業によるデモンストレーション

◆日時・場所

令和3年7月5日（月曜日） 13:15 開始

福岡市水道技術研修所※（以下「研修所」という。）

※ デモンストレーションでは、研修所を模擬フィールドとして行う検証の様子撮影と提案企業へのインタビューが可能です。

◆模擬フィールドにおける検証の目的

公道上のフィールド（鉄道・国道の横断部、地下街周辺、離島）検証に先立ち、研修所の研修用水道管を使って、IoT センサの取付方法や性能試験、漏水検知に至るプロセスの確認・検証を行います。

◆当日のスケジュール

13:15 ~ デモンストレーションの概要説明

13:30 ~ 株式会社 日立製作所 九州支社 デモンストレーション開始

14:00 ~ フジテコム 株式会社 九州支店 デモンストレーション開始

14:30 完了

◆福岡市水道技術研修所について

(アクセス)



住所：福岡市西区大字羽根戸 486

都市高速内回り福重 IC から車で約 15 分

都市高速外回り野芥 IC から車で約 15 分

TEL：092-812-6191



市政記者各位

令和3年8月18日
福岡市総務企画局企画調整部
福岡地域戦略推進協議会
Fukuoka Growth Next

福岡市実証実験フルサポート事業 『感染症対応シティに向けたワークスペースのあり方検証プロジェクト』

シェアワークスペースの感染症対策！ 「手洗い判定機」による実証実験を開始!!

福岡市と福岡地域戦略推進協議会(FDC)では、AI やIoT 等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、優秀なプロジェクトの福岡市での実証実験をサポートする「福岡市実証実験フルサポート事業」を実施しています。

この度、「Beyond Coronavirus (=コロナを乗り越える)」をテーマとして採択された株式会社 tsumug (本社：福岡市) によるプロジェクトの一環として、無人運用可能な小型オフィスにおける「手洗い判定システム」の実証実験が、下記及び別紙のとおり実施されますのでお知らせします。

記

1.事業者

株式会社 tsumug

(代表取締役社長 牧田 恵里 福岡市中央区大名 2-6-11 Fukuoka Growth Next 301)

2.プロジェクト名

『自律分散オフィス「TiNK Desk / TiNK Office」』

※「TiNK VPO」から「TiNK Office」に2020年7月31日名称変更

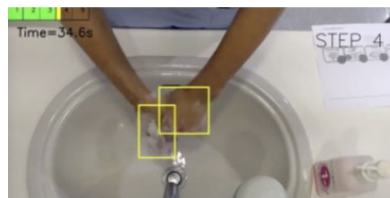


3.実証実験概要

マンションなどの空室を活用したシェアワークスペースサービス「TiNK Desk」の洗面台に新たに「手洗い判定機」を設置し、利用者へ感染予防行動へのさらなる意識喚起とその行動変容の検証を行う。

4.実証実験場所（詳細別紙）

- ①TiNK Desk 福岡中央区役所前
- ②TiNK Desk 福岡ももち



5.実証実験のモニターについて（詳細別紙）

8/18（水）から当面の間、手洗い判定機の利用後に利用報告及びアンケート回答することで、「TiNK Desk」の利用料金から30分無料とするクーポンが提供されます。※1回限り

6.問い合わせ

福岡市総務企画局企画調整部

担当：雪野、花田 電話番号：092-711-4879（内線1219）

TiNK Desk、手がきちんと洗えているかを自動判定する『手洗い判定機』を活用した 感染症拡大防止に関する実証実験を開始

～福岡市採択の実証実験として市内2拠点（福岡中央区役所前・福岡 ももち）に設置～

空室利活用サービスを開発する株式会社tsumug（ツムグ）は、手がきちんと洗えているかを自動判定する『手洗い判定機』を活用した、感染症拡大防止に関する実証実験を開始しました。福岡市内の「TiNK Desk 福岡中央区役所前（中央区）」「TiNK Desk 福岡 ももち（早良区）」合計2拠点に手洗い判定機を設置しており、TiNK Deskの利用者がモニター利用を行います。この実証実験は、昨年7月に「福岡市実証実験フルサポート事業『Beyond Coronavirus』」に採択されたプロジェクトとして、既に実施していた非接触体温計による遠隔体温検知に続き、実施するものです。



『手洗い判定機』を活用した 感染症拡大防止に関する実証実験を開始

TiNK Desk 福岡中央区役所前・福岡 ももち

■ 福岡市実証実験フルサポート事業について

福岡市
実証実験
フルサポート事業

福岡市と福岡地域戦略推進協議会が、AIやIoT等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、福岡市での実証実験を「福岡市実証実験フ

ルサポート事業採択プロジェクト」としてサポートしています。今回新型コロナウイルス感染症がもたらす様々な社会課題の解決を目指すプロジェクト「Beyond Coronavirus（＝コロナを乗り越える）」として採択されました。

■ 手洗い判定機の利用方法（実証実験のモニター参加）

以下の「TiNK Desk」のご利用時に、洗面台に設置した『手洗い判定機』を利用可能です。手洗い判定機の利用後、利用報告およびアンケート回答をすることでモニター参加となります。モニターに参加者には、その日の「TiNK Desk」利用料金を30分無料とするモニター参加クーポンを進呈します。



手洗い判定機設置拠点

- [TiNK Desk 福岡中央区役所前](#)（福岡市中央区大名二丁目10-1）
- [TiNK Desk 福岡ももち](#)（福岡市早良区百道浜一丁目3-70）

モニター参加方法

1. 手洗い判定機設置拠点のいずれかの設備を利用します
2. 手洗い判定機の表示・壁面ポスターを参考に、洗面台で手を洗います。
3. 手洗い判定結果が画面に表示されたら、携帯電話などカメラで画面を撮影し、壁面ポスター記載の二次元コードを読んで、利用報告およびアンケート回答を行います。

TiNK Deskの利用方法については、項目『「TiNK Desk」とは』を参照ください。

■ 「TiNK Desk」とは

昨今のさまざまな働く環境に対応する、オフィス・自宅に続く3つ目の新しいワークスペースとして展開する空間サービスです。これまで「TiNK Desk」は、福岡市内や東京都内など累計13拠点にサービスを提供してきました。LINEで「友だち登録」するだけで利用可能で、

新たなアプリをダウンロードする必要はありません。LINEで「友だち登録」後は15分単位で利用/予約が可能で、施設の検索、予約、解錠、決済までLINEのトーク画面から行えます。

<LINEでの利用の流れ>



▼LINEで「友だち登録」はここから



今後も、tsumugは継続して安心して利用していただくサービスとして、充実したサポート体制の構築を行い、質の高いサービスの提供を通して、「それぞれの心地よい居場所で世界を埋め尽くす」というvisionの実現を目指してまいります。

■ 株式会社tsumug

本社：福岡市中央区大名2-6-11Fukuoka Growth Next 301

東京Base：東京都渋谷区渋谷2-14-13岡崎ビル708

代表：代表取締役社長 牧田 恵里

URL：<http://tsumug.com/>

「それぞれの心地よい居場所で世界を埋め尽くす」をvisionに掲げるtsumugは、空間サービス「TiNK（ティンク）」を提供しています。

LINEで「友だち登録」していただくだけで、施設の検索、予約、鍵の解錠・施錠、決済の全てが利用可能。現在、集中して作業ができる机の時間貸しを行う「TiNK Desk」と、空間全体を1企業やプロジェクトメンバーと専有して使える法人向け「TiNK Office」を展開しています。リモートワークなど多様化する企業の働き方に対応する新しいオフィスの形として利用され、サービス/事業を広げています。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社tsumug

担当広報：古田

お問い合わせ窓口：press@tsumug.com

市政記者各位

令和3年8月31日
福岡市総務企画局企画調整部
福岡地域戦略推進協議会

福岡市実証実験フルサポート事業

「EV スクーター×シェアリング」第2弾

シェア型移動サービスが都心部に展開されます!!

福岡市と福岡地域戦略推進協議会(FDC)では、AI や IoT 等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、福岡市での実証実験をサポートする「福岡市実証実験フルサポート事業」を実施しております。

この度、「EV スクーターのシェアリングサービス事業」第2弾の実証実験が下記のとおり開始されますので、お知らせいたします。

記

1 事業者

株式会社新出光(本社:福岡市)



第1弾の様子



2 実証実験の内容

(1) 概要

低炭素型交通網の構築、移動手段の多様化・利便性向上、新たな観光モビリティの提供を目指し、環境負荷低減を目指す電動のスクーターバイクを短時間から借りられて、専用ポートでの乗り捨てが可能な、シェアリングサービスのテストマーケティングを実施するもの。

5月から7月末まで、九州大学関係者を対象として実施されていた第1弾の実証実験が大好評につき、第2弾として、都心部にポートを設置し、一般利用者に対象を拡げ、サービスの形成に向けたデータ収集などを行う。

(2) 内容詳細

期 間:令和3年9月2日(木) ~ 11月29日(月) ※予定

ポ ー ト:旧大名小学校前(Fukuoka Growth Next)、IDEX セルフ福岡ドーム前SS
六本松 421 前(地下鉄六本松駅前)

料 金:8円/1分 (初回登録時30分の無料チケットプレゼント)

対 象:18歳以上で原動機付自転車を運転可能な免許証をお持ちの方
(高校生は利用不可)

受 付:10:15~18:30、返却:10:25~18:45(日を跨いでの利用は不可)

今回は福岡県に緊急事態宣言が発令されている為、報道機関向けのデモンストレーションは実施されませんが、株式会社新出光では、個別に取材対応されますので、取材いただける場合は、

【電話 080-5801-8273:山口】までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

福岡市総務企画局企画調整部

担当:雪野、大蘭 電話:092-711-4879(内線 1219)



■福岡市実証実験フルサポート事業※

福岡市と福岡地域戦略推進協議会が AI や IoT 等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、福岡市での実証実験をサポートするもの。

■「EV スクーターのシェアリングサービス事業『ラクすく』」について

環境負荷低減を目指す EV スクーターを短時間から借りられて、専用ポートでの乗り捨てが可能な新しいシェアリングサービスを目指し、現在テストマーケティングを行っています。

将来的には福岡市内に 100 箇所以上のポート場所を設置して、24 時間いつでもどこでもライドシェアする事ができるサービスを目指しています。

※今回は福岡県に緊急事態宣言が発令されている為、報道機関向けのデモンストレーションは実施致しませんので、ご了承ください。

なお、個別での取材はお受け致しますので、新出光経営企画課 山口(電話:080-5801-8273)までご連絡ください。

当リリースに関するお問合せ先

株式会社新出光 広報担当 谷口・^{しもじょう}下門 電話:092-291-4134

経営企画課 山口 電話:080-5801-8273

以上

市政記者各位

令和3年10月1日
道路下水道局建設部建設推進課
総務企画局企画調整部

mirai@共働事業“インフラテック実証プロジェクト”

mirai@
city.fukuoka

安全、正確、迅速な耐震診断！

『ロボット等を活用した下水道管渠断面調査』実証 PJ 開始

福岡市では、民間事業者の先進的なアイデアやAI・IoTといった先端技術を活用して社会課題の解決等を促進する公民連携ワンストップ窓口『mirai@』（ミライアット）を設置し、提案者と市が共働で行政サービスの高質化・効率化に資するプロジェクトを実施する『実証実験』のご提案を募集しております。

この度、以下の通り実証プロジェクトをスタートすることとなりましたのでお知らせいたします。

記

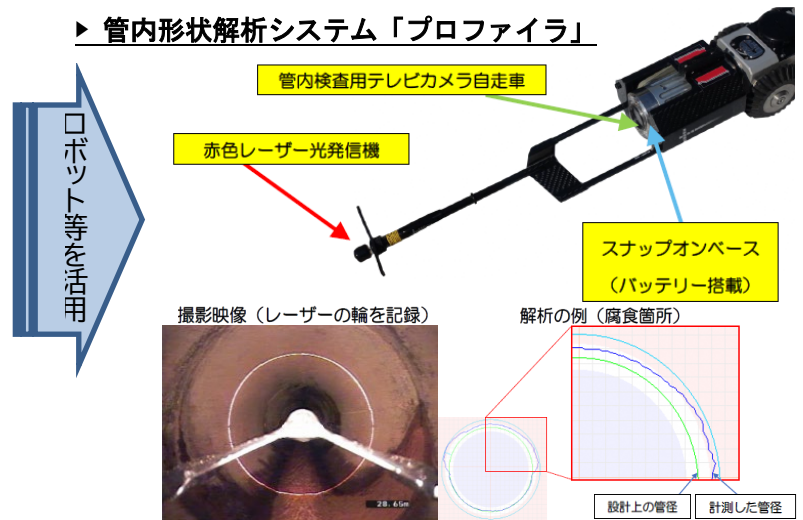
1 実証プロジェクトの目的

福岡市では、下水道管渠の地震対策のため耐震補強工事を実施しています。耐震補強の必要性、優先度、具体的な方法などを決定するため、「管渠断面調査」による耐震診断を実施していますが、現状は、汚水や雨水が流れている状況での目視調査が基本となっており、管内の状況によって正確な診断が困難であることや、調査員の作業環境も低下するなどの課題があります。

そのため、目視調査と比較し、安全で精度の高い「ロボット等を活用した下水道管渠断面調査」が可能であるかを検証します。ロボット等を活用した断面調査が可能となれば、調査員の安全性や測定精度の確保だけでなく、交通規制時間の縮減など市民への負担軽減も期待できます。



現状の管渠断面調査



2 提案企業

管清工業 株式会社 九州支店

3 実証プロジェクト期間

令和3年10月5日 ~ 令和4年3月31日

- 実証が開始される10月5日は、別紙のとおり提案企業による現地調査が行われます。作業状況の撮影及び提案企業へのインタビューが可能ですので、取材をお願いいたします。
- 天候等により予告無しに現地作業を中止する場合がありますので、取材の際には事前に建設推進課へご連絡をお願いします。

【問い合わせ先】

○実証プロジェクトに関すること
道路下水道局建設部建設推進課
担当：大津、稗田
電話：092-711-4464 (内線 3101)

○『mirai@』に関すること
総務企画局企画調整部
担当：雪野、大園
電話：092-711-4879 (内線 1219)



1 現地調査日時

令和3年10月5日(火) 9時30分～

※ 予備日：令和3年10月6日(水)

10時30分から

マスコミ各社様向けの
技術概要の説明を開始！

2 現地調査箇所

福岡市早良区室見1丁目14番地の西側道路



(ご注意)調査箇所には駐車スペースがありません。

お越しの際は、付近の有料駐車場や公共交通機関等をご利用ください。

3 当日のスケジュール

09:30～10:30 調査準備 (酸素濃度計測等)

10:30～11:30 技術概要説明

11:30～13:50 計測調査

この時間帯にお越し頂くのが
オススメです！

※ 当日の作業の進捗により時間が前後することがあります。

※ 天候等により予告無しに現地調査を中止する場合がありますので、取材の際には事前に建設推進課へご連絡をお願いします。

市政記者各位

令和3年10月28日
福岡市総務企画局企画調整部
福岡地域戦略推進協議会

中小製造業の生産性向上を目指します。

「AIを活用した生産計画自動作成システム」による実証実験を開始!!

福岡市と福岡地域戦略推進協議会(FDC)では、AIやIoT等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、優秀なプロジェクトの福岡市での実証実験をサポートする「福岡市実証実験フルサポート事業」を実施しています。

この度、令和3年7月に採択された株式会社Regnio（本社：福岡市）によるプロジェクトの一環として、AIを活用した生産計画自動作成サービスの実証実験が、下記及び別紙のとおり実施されますのでお知らせします。

記

1.事業者

株式会社 Regnio

(代表取締役 中野 雅俊 福岡市中央区大名 2-6-11 Fukuoka Growth Next 310)

2.プロジェクト名

『Regnio Factory (リグニオファクトリー)』



3.実証実験概要

「伊都物語」を生産している糸島みるくぷらんとの工場において、下記の内容を実施。

- ① 工場長が作成した生産計画と、AIと統計を活用して自動作成した生産計画の比較。
- ② 自動作成した生産計画を実際に運用し、欠品の発生有無や、在庫数の推移、作業時間の削減などの項目について検証。

4.実証実験場所

糸島みるくぷらんと（本社：福岡市西区周船寺 1-13-4、糸島工場：糸島市篠原 283-1）

「伊都物語」のヨーグルトは福岡市農林水産局が認定するふくおかさん家のお気に入り
に認定されています。

5. 実証実験の予定

令和3年11月～12月 AIと統計を活用して自動作成した生産計画の検証開始。

令和4年1月以降 IoTカメラを用いた在庫自動カウントの検証開始。

6.問い合わせ

福岡市総務企画局企画調整部

担当：雪野、花田 電話番号：092-711-4879（内線1219）

【在庫ロス削減】のむヨーグルト「伊都物語」の工場でAIを活用した生産計画自動作成サービスの実証実験を開始

経験頼み・属人化からの脱却で、働き方改革と食品ロス削減を目指す

株式会社Regnio（本社：福岡県福岡市中央区／代表取締役：中野 雅俊 以下 Regnio）は、2021年11月1日より福岡市実証実験フルサポート事業の支援を受けながら、株式会社糸島みるくぷらんと（本社：福岡県福岡市西区／代表取締役：宮崎英文 以下糸島みるくぷらんと）と生産計画自動作成サービス「Regnio Factory（リグニオファクトリー）」の実証実験を開始することをお知らせいたします。

■実証実験の概要

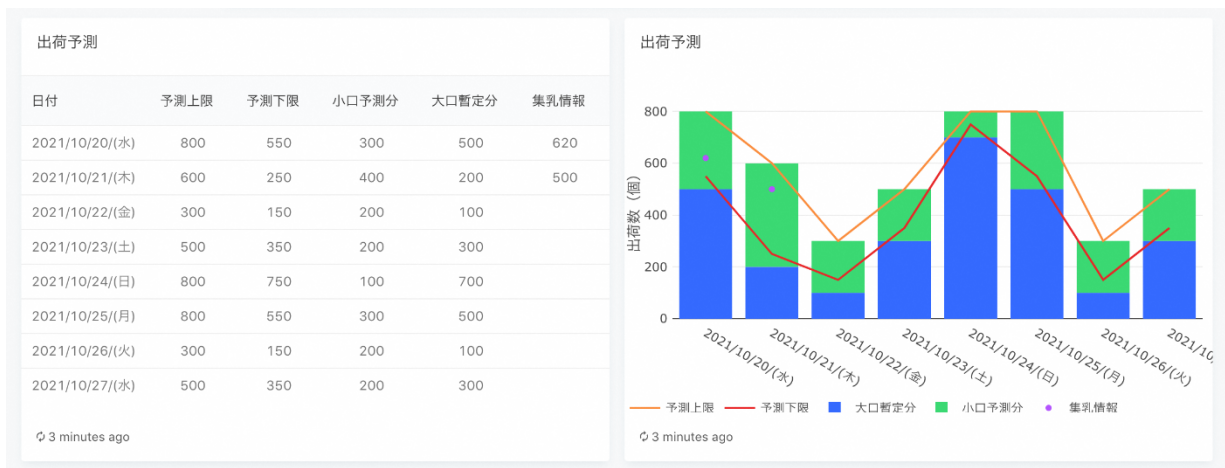
期間：2021年11月～12月

導入先：糸島みるくぷらんと 糸島工場

内容：Regnioが開発中の生産計画自動作成サービスで毎日、過去の出荷実績データをもとに統計学とAIによって需要予測と生産計画を作成。工場長が立案するものとの比較（11月）や、自動作成された生産計画に基づいたライン稼働（12月）を行う。

検証項目：欠品の発生有無、在庫数の推移、出荷時の賞味期限、値引き商品の発生有無、作業時間など

その後の予定：2022年1月以降にIoTカメラを用いた在庫自動カウントの実証実験を行う



< 画面イメージ >

■糸島みるくぷらんとが抱える課題

福岡県糸島地域の酪農家による牛乳の販売会社として1992年に設立された糸島みるくぷらんとは、看板商品ののむヨーグルト「伊都物語」のヒットにより成長を遂げ、地元で愛され続ける乳製品メーカーです。

生産計画の立案のためには、正確な在庫把握と需要の予測が必要です。現在の糸島みるくぷらんとでは人力での在庫把握、システムへの手入力を行っているため、リアルタイムで正確な在庫把握は難しく、また気温などに左右される需要を加味して生産計画を立てるという業務はとも難易度が高く経験も要します。工場長は経験を頼りに手間なく生産計画を立案できますが、他の社員が担当するとかなりの時間を要してしまい、教育コストも高くなることから属人的な業務になってしまっていました。

生産計画を誤り作り過ぎが発生すると、店頭で値引き販売することがあるため損失が生まれます。また、賞味期限が長い商品を卸すことで販売数を伸ばすことができますが、在庫に賞味期限の近いものが多くあると、そちらから出荷せざるを得ません。

「適切な生産計画が経験に頼らずに自動で立案できることで、属人化からの解放と損失削減、ひいては売上向上につながることを期待しています」と糸島みるくぷらんとの工場長浦重孝さんは実証実験に協力くださることになりました。



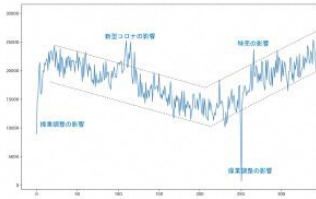
< みるくぷらんととRegnioの打ち合わせ風景 >

■中小食品製造業向け生産計画自動作成サービスRegnio Factory

Regnio Factoryは、そんな食品製造業の課題を解決するAI生産計画サービスです。AIとIoTカメラを用いて、精度の高い需要予測、リアルタイムな在庫状況の把握、それらに基づいた最適な生産計画の立案を自動で行います。

将来的には、原材料発注や営業情報との連携を強化していく予定です。私たちは、このサービスで、生産状況と市場情報の両方のデータを連携し、良いものを適切な価格とタイミングで届けられる工場を目指しています。

01 需要予測



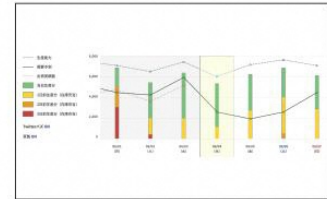
AIを用いて、過去の出荷実績数、天気、Twitter、営業情報から需要を予測することが可能に。

02 商品在庫自動カウント



倉庫に設置したIoTカメラで、商品在庫数を自動でカウントし、リアルタイムに在庫状況を把握することが可能に。

03 生産計画立案



需要予測とリアルタイム在庫管理を用いて、最適な生産計画の立案を自動で行うことが可能に。

< Regnio Factoryの機能 >

■「産業の再点火」Regnioの目指す世界

Regnioという社名は、Re-ignition (再点火) という言葉と I/O (Input / Output) という技術用語を掛け合わせたもので、「技術とクリエイティブの力であらゆるリアルな現場を変革し、産業を再点火していく」という意味があります。

このビジョンを実現するためには、弊社の幅広い技術力とデザインによるクリエイティブ力の他に、お客様の深い業務理解を組み合わせることが必要であると考えています。私たちは、お客様と継続的なパートナーシップを築き、経営レベルと現場レベルの両方に深く関わりながら、製造業の事業変革に挑戦しています。

■福岡市実証実験フルサポート事業について

福岡市実証実験フルサポート事業とは、福岡市と福岡地域戦略推進協議会がAI・IoTなどの先端技術を活用した社会課題の解決や生活の質の向上などにつながる実証実験プロジェクトを全国から募集し、福岡市での実証実験を全面的にサポートするものです。

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/soki/kikaku/mirai/fullsupport.html>

■会社情報

会社名：株式会社Regnio

所在地：福岡市中央区大名2-6-11 FukuokaGrowthNext内

代表者：代表取締役兼CTO 中野雅俊

電話番号：080-1710-9812

URL：<https://www.regnio.co.jp/>

お問い合わせ：info@regnio.co.jp

迷わない、待たない、快適な区役所を目指して！

「センサーを活用した実証実験」を開始!!

mirai@
city.fukuoka

福岡市では、民間事業者の先進的なアイデアや AI・IoT といった先端技術を活用して社会課題の解決等を促進する公民連携ワンストップ窓口『mirai@』（ミライアット）を設置し、提案者と市が共働で行政サービスの高質化・効率化に資するプロジェクトを実施する『実証実験』のご提案を募集しております。

この度、東区役所において、今後の更なる市民サービスの向上を目指し、以下の通り2つの実証実験をスタートすることとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. プロジェクト1

(1) 実施事業者：62Complex 株式会社

(本社：福岡市、共同代表：橋本司、市江竜太)

(2) プロジェクト名：『センサーを活用した人流解析』

(3) 実証実験概要（技術の詳細については別紙1参照）

レーザーを利用したセンサーで取得した“4D 空間データ”を分析し、来庁者の移動経路や滞留場所などの把握が可能か検証を行います。分析結果は、効率的なレイアウト配置や効果的な案内板の設置個所の検討などへの活用が期待されます。



2. プロジェクト2

(1) 実施事業者：国立大学法人 九州大学

(2) プロジェクト名：『センサーを活用した混雑状況の可視化』

(3) 実証実験概要（技術の詳細については別紙2参照）

センサーを活用し、携帯電話からの電波を検知することにより、窓口ごとの混雑状況を把握することが可能か検証を行います。混雑状況のデータを積み重ねることにより、混雑状況の見える化だけでなく、混雑予測の公開も期待されます。



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

3. 実証実験場所及び実施期間

(1) 実施場所：福岡市東区役所1階フロア（東区箱崎2丁目54-1）

(2) 実施期間：令和4年2月1日（火）～令和4年5月31日（火）（予定）

4. 問い合わせ

● 公民連携ワンストップ窓口『mirai@』に関すること

福岡市総務企画局企画調整部 担当：雪野、大藪 Tel：092-711-4879（内線1219）

● プロジェクト1に関すること

62Complex 株式会社 担当：橋本 司

Tel：050-3553-2050 e-mail：info@62complex.com

● プロジェクト2に関すること

九州大学持続的共進化地域創成拠点 客員准教授 高野 茂

e-mail：takano.shigeru.019@m.kyushu-u.ac.jp

福岡市東区役所 総合受付における 4D 空間データ分析による人流解析

“オフライン”を検索できる未来へ

62Complex 株式会社(以下: 62C)は、まちなかや施設にレーザー光を利用して計測するセンサーを設置し、時間的に連続した点群データ(4D 空間データ)を取得、エッジ処理とクラウド分析により、ヒト、空間、環境情報を分析・可視化する SaaS プラットフォームの開発と運営、コンサルティングを実施するスタートアップです。

創業から約1年、北部九州を中心とする自治体の方々に対して、市街地や観光施設および鉄道駅などの4D 空間データ分析サービスを提供してきました。

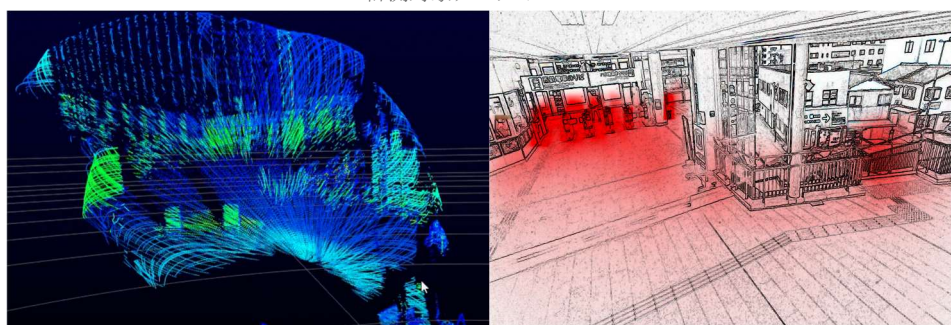
62Complex

このたび、62C の4D 空間データ分析システムを用いて福岡市東区役所の総合受付における利用導線や空間状況を把握する実証実験を開始します。

4D 空間データ収集端末5台を設置し、区役所窓口周辺の人の流れと移動経路、また来庁者の滞留時間や滞留場所を分析する実証実験を行います。これにより区民のみなさまへのよりよい窓口サービス提供への貢献を目指します。

今回はレーザー光を用いて取得されるデータを用い、取得するデータに個人情報は含まれません。

計測対象データイメージ



企業情報:

- ・ 62Complex 株式会社
- ・ <https://62complex.com/>
- ・ お問い合わせ: info@62complex.com

伊都キャンパス周辺バス停混雑度情報可視化システム「itocon」について

九州大学大学院システム情報科学研究所ヒューマンフィリックスシステム研究室(荒川豊教授)および九州大学持続的共進化地域創成拠点(COI)では、新型コロナウイルス対策の一環として、伊都キャンパスに通う学生・教職員向けにバス停や食堂の混雑度を可視化するシステム「itocon(いとこん)」を開発し、Web アプリとし



て公開しています。混雑の計測はWiFiやBLE(Bluetooth Low Energy)の出す電波をもとに周辺のスマートフォンの台数を推定し、センサ設置周辺空間の混雑度として可視化する仕組みです。伊都キャンパスでは、周辺11カ所のバス停および9カ所の食堂の混雑状況がリアルタイムに確認できるようになっています。この混雑情報を活用して、キャンパスにおける行動変容を促す研究開発が進められています。また、「itocon」は、コロナ禍における公共交通利用促進策の事例として、国土交通省のWebサイトにて紹介されています。

このたび、同システムを用いて、福岡市東区役所における混雑状況のセンシングに関する実証実験を開始いたします。今回は、WiFi/BLE/LTE-Mを搭載したUSB型通信端末に混雑センシングプログラムを実装し、低消費電力化した小型混雑センサ「itocon-GO」を、6台を東区役所待合室ロビーに設置し、実際の混雑状況と比較しながらシステムの精度検証などを実施させていただきます。混雑状況は、Webブラウザで確認でき、下図のような表記で周辺の混雑状況を可視化します。



なお、計測する電波から個人を特定する情報は含まれておりません。

参考情報:

- ・ itocon のポータルサイト: <https://itocon.arakawa-lab.com/>
- ・ itocon-GO センサ概要:
 - サイズ: 約 93mm x 27mm x 8mm(突起部を含む)
 - 重量: 約 21g
 - 通信機能: nano-SIM
 - 消費電力: 1W 程度

